

国道 158 号の斜面崩壊（通行止め）に係る対応状況について

令和 7 年 4 月 21 日時点

1 被害の概要等

国道 158 号の上半原地係で 3 月 18 日に土砂崩れの拡大が確認され全面通行止となっていた箇所、3 月 19 日に再度大規模な土砂崩れが発生した。

【原因】 崩壊箇所は地下水が集まりやすいくぼ地地形であったため、融雪により地下水が上昇し、斜面下段での小規模な表層崩壊が発生した。これにより斜面の下部や側面の支えを失ったことによって、斜面全体の大規模な崩落が発生した可能性が高い。

【被害状況】 人的被害なし
斜面崩壊（幅約 90m×高さ約 100m 道路が完全に塞がれ岐阜県との往来不可）

【通行止区間】 3 月 18 日～（福井県側）
国道 158 号 朝日―東市布 18.5km
※ 4 月 24 日～ 通行止め区間を短縮、
九頭竜湖周辺の観光施設まで通行可
3 月 19 日～（岐阜県側）
中部縦貫自動車道・油坂峠道路
油坂除雪センター前―白鳥 IC 11.1km

2 県の対応

- ・ 3 月 28 日 国道 158 号（大野市上半原地係）の斜面崩壊に関する第 1 回対策検討会を開催
- ・ 夏休み前までの開通を目指し、全長約 250 メートルの仮設道路（迂回路）を設置する予定
- ・ 迂回路は、九頭竜川に仮設の橋を 2 橋架けて対岸を通る計画
- ・ 4 月 24 日から通行止め区間を短縮、九頭竜湖周辺の観光施設まで通行可
- ・ 通行止め区間短縮を周知する案内看板を沿道に設置
- ・ 本復旧には、年単位の時間がかかる見込み

3 市の対応

■要望書の提出■

- ・ 3月24日 大野市・大野市議会で、県へ要望書を提出
一日も早い不通区間の解消、適時的確な情報発信、全面復旧までの期間における産業振興策・観光誘客促進策の実施などを要望

■会議等■

- ・ 部局長等による災害対策情報連絡会を4回開催し情報共有と対応策を検討
3月21日、4月4日、4月14日、4月21日

【防災防犯課】

■イベント関連■

- ・ 4月5日 岩倉さくらまつり訪問市民バスツアー（大野市運行）
⇒ 北陸自動車道経由で実施

【政策推進課秘書広報室】

- ・ 5月25日 第61回越前大野名水マラソン
⇒ 東海、関東甲信越からの参加者に対して、通行止めの状況を周知
メール（4月21日）・葉書（5月2日）
参加者全員へゼッケンと一緒に迂回路案内等を送付（5月12日～）

【スポーツ推進課】

■産業・観光面等■

- ・ 観光客等の減少による地域経済への影響（宿泊施設、飲食店等）
- ・ 交通量の減による売上の減少
（道の駅「越前おおの 荒島の郷」「九頭竜」、平成の湯、（株）昇竜など）
- ・ 岐阜方面とのトラックの往来が出来ないことでの出荷や仕入れルートの変更など物流面の影響
⇒ 市、観光ビューロー等のHPで代替ルートを積極的に周知し観光客の不安解消と誘客促進を図る
 - ・ 市HP（3月19日から随時更新）
 - ・ おおの観光ガイド メインビジュアル（4月4日、開花情報の随時更新）各種メディアやWEBを活用したプロモーションや誘客企画を前倒しで実施
 - ・ たんなんラジオ 4月19日
 - ・ 北陸朝日放送 4月24日「ふむふむ（夕方情報番組）」
4月26日～5月5日CM予定

- ・ 福井新聞 4月26日紙面広告
- ・ 石川テレビ 5月1日～5月10日CM予定
- ・ 月刊ウララ 7月号別冊グルメ情報誌
- ・ 北陸ドライブ 7月フリーペーパー

宿泊ありがとうキャンペーンなどの早期実施（5月1日から）

平成の湯の営業日を土日祝日とし、平日はフレアール和泉大浴場の利用を継続
中小企業資金融資の活用と支援の拡充を検討

ふるさと納税：体験型返礼商品のプロモーション

（旅館、キャンプ場、カヤックやツリークライミング等の体験）

県内外に向けたプロモーションや誘客策の実施を県に依頼

【産業政策課、観光交流課、農業林業振興課】

■救急搬送対応等■

- ・ 崩落箇所から岐阜県側の災害対応

⇒ 郡上市消防本部が対応。中部縦貫自動車道の工事業者一覧を郡上市と情報共有し、災害現場が不明の場合双方同時出動

- ・ 本市での大規模災害発生時の受援体制

⇒ 東海地方からの緊急消防援助隊について、北陸自動車道を経由し迂回により対応

【消防本部】

■その他■

- ・ 崩落箇所から岐阜県側の中部縦貫自動車道建設工事現場事務所の仮設トイレのし尿の汲み取り（6事業者・17基）

⇒ 郡上市との「災害時相互応援協定」に基づく応援要請で、し尿の収集運搬及び処理の受け入れを依頼

し尿処理：郡上環境衛生センター、収集運搬：岐阜県環境整備事業協同組合で対応

【上下水道課】